



トベラこども園 令和4年5月発行

今月のテーマ：子どもの健康観察

子どもたちも園の生活に慣れ、活発に活動する姿が見られるようになりました。反面、急に登園を嫌がったり、朝、泣いて離れないなどの姿を見ることがあります。理由は様々ですが、こうしたときは子どもの話をゆっくり聞く時間を作りましょう。「今日も一日がんばったね」と毎日声をかけることで、子どもは自分の思いを受け止めてもらえたという安心感につつまれます。

新型コロナウイルスに加えて、これからの季節に特有の感染症もありますので、予防対策を徹底しつつ、子どもたちには元気いっぱい過ごせるように配慮していきたいと思います。



登園前の体調チェック

- ☆いつもより元気がない、機嫌が悪い
- ☆いつもより食欲がない
- ☆朝の検温で平熱より高い
- ☆咳、鼻水が続いている
- ☆耳を触る、耳を痛がる
- ☆嘔吐下痢をしている
- (登園前だけでなく、前日の夜にも)
- ☆目が赤い、目やにがある
- ☆体に発疹がある
- ☆ご家庭で24時間以内に怪我をして、病院を受診した
- ☆薬を飲んでいる



こども園での感染予防

- (密集) 誕生会等全体での集いは行わず、クラス単位で楽しんでいます。
(状況に応じてみんなで集まりたいと思います)
- (密閉) エアコンを使用していますが、2か所以上常に窓を開け換気をしています。
- (密接) 子どもとのかかわりの中で、密接を防ぐことは難しいです。
保育教諭の手洗い、手指消毒、マスク着用
玩具や椅子、机などの消毒をしています。

新型コロナウイルスから子どもを守る行動を一緒にとっていきましょう。ご理解ご協力をよろしくお願いします。



豊かな表情を見せてあげて

園では3.4.5歳児と大人がマスクをしています。マスク生活では相手の口元が見えず、表情を読み取りづらいです。表情を読み取る機会が少なくなると、相手の気持ちを理解する能力の発達への影響が懸念されます。ご家庭では可能な範囲でマスクを外し、子どもたちに豊かな表情を見せる機会を意識して増やしましょう。



子どもの豊かな表情づくりのポイント

- 乳幼児期はご家庭で可能な範囲でマスクを外し、親の表情に接する機会を増やす
- だっこやおんぶ、ご家庭での食事など、子どもが心地よさを感じるタイミングで様々な表情を見せる
- 口や目などの表情筋を親子で楽しみながら鍛える
- 笑顔でにらめっこ、絵本のキャラクターの表情のまねなど遊びを工夫する



こども園で元気いっぱい過ごすには体調がよいことが一番です。朝の体調で気になることがありましたら保育教諭に登園時または連絡帳などでお知らせください。